

カテーテルアブレーション治療を受けられる

様へ

バスコード:06006 世代:4

経過 月日	外来(入院前)	入院 (月 日 時)	治療日 (月 日)	(治療翌日) (月 日)	退院予定日 (月 日)	
達成目標		治療内容が理解できる	心身安定した状態で治療を受けることができる	症状・苦痛の有無を表出できる	症状・苦痛の有無を表出できる	退院後の注意点を理解できる
治療 ・処置・検査 薬剤(点滴)		カテーテル挿入部位の予定は 橈骨部、肘部、鼠径部、鎖骨下です 鼠径部の場合は清潔を保つために毛剃りを します。 治療時に胸部にシールを貼るため胸毛を 除毛します 鼠径部を穿刺する場合は、足背の脈が ふれる位置に印をつけます。 心電図モニターをつけます。	<検査前> ()時間前から点滴を行います。 尿道に管またはサック型(男性)の器具を 使用します。検査1時間前に入れます。 検査1時間前に 肘、 橈骨に痛みを 和らげるシールをに貼ります。 ()時頃に検査着に着替えます。 検査に行く前に入れ歯・めがね・指輪・ 時計など金属類は外します。	<検査後> 穿刺部はガーゼで圧迫止血をします。指 示があるまで外さないでください。 点滴は医師の指示があるまでおこな います。 尿道の管またはサック型の器具はベ ッド上安静のため、挿入したまま です。 心電図モニターをつけます	心電図モニターは退院まで装着 します。 採血の結果や全身の状態をみて、 可能であれば点滴を抜針します。 尿道の管またはサック型(男性)の 器具を外します	退院時にモニターを外します。
	入院前より別紙記載の如く 一部の内服薬を中止して下さい。	持参薬の確認をします。 医師の指示により内服薬を一部変 更することがあります。 入院中は内服薬はいったんお預かり し、内服時にお持ちします(万が一 誤内服があると、治療ができな い可能性があるためです)			治療の結果や経過に応じ、抗不 整脈・抗凝固薬・降圧薬などの内 服を変更する可能性があります。	退院後の内服について 説明があります。
	外来受診時もしくは 入院時 心電図 レントゲン 血液検査	心電図 レントゲン 血液検査	カテーテル検査は(午前・午後 時)頃 からです。(他患者の緊急治療の ため、検査時間が変更になる場合 もあります)	心電図	心電図 レントゲン	
安静度		 特に制限ありません。 病気の種類別に食事が始まります。	検査時間の変更がある可能性がある ため、病棟内でお過ごしいただ きます。 医師の判断により集中治療室 (CCU/ICU)に入室することがあ ります。 検査当日は再出血を防ぐため、基 本的にはベッド上で過ごしていただ きます。	カテーテル穿刺部の止血について 足の場合 2~6時間程度止血のためテープで 圧迫固定をします。足は曲げない で下さい。ベッド上安静となりま す。安静度については看護師か ら説明があります。 腕・肩の場合 約2時間後に圧迫固定を外します。 その他の穿刺部位が有る場合、部 位に応じて圧迫時間は調整しま す。	病棟内を歩行できます。 	運動の制限は患者様によって異 なるので主治医にご確認ください。 運動中の脈拍数が(220-年齢)程 度であれば適度な運動です。それ 以上であれば、過度の負担が心臓 にかかっているため運動は中断し てください。
食事		(朝・昼)が欠食になります 飲水は()時までです (検査2時間前まで可能です)	飲食は可能です。 		食事制限は患者様によって異な ります。退院時に看護師が説明 します。 体の機能を維持するため必要な 栄養素を過不足なく摂取できるよ う1日3回規則正しくバランスの よい食事を心がけましょう。	
清潔		入浴していただけます。 	穿刺部位の血が止まっていること を確認してから着替えをします。	入浴・シャワーは禁止です。 体ふきを行います。 心臓に負担をかけないため です。		
患者様 及び ご家族へ の説明	外来にて説明 この説明用紙は入院時に お持ちください。 内服薬を1週間分持参して ください。 入院中や退院後の生活に ついて心配なことがあれば相 談してください。	主治医より検査・治療について 入院時に説明があります。ご家族 の方と一緒に聞いていただきま す。 看護師より検査について説明 します。名前の確認のためにネ ームバンドをつけていただきま す。 治療の状況により70歳未満の 患者様は高額医療(限度額認定)の 対象になります。入院時にパン フレットに説明用紙を入れてお ります。手続きをして入院して ください。 現在日常生活で不安なことや気 になる点がある項目(疾患・食 事・運動・内服・睡眠・排泄 など)については入院中看護師 が説明します。	アブレーション治療の結果は、 治療後にご家族の方と一緒に 医師より説明があります。 病状やその他の理由により退院 が延期となる場合があります。 穿刺部に出血や痛みがあればナ ースコールでお知らせください。 手足が動かしにくい・しゃべり にくい等の症状があればすぐ にお知らせください。	日常生活で気になること不安な ことについて看護師から説明 します。不明な点があれば看護 師に聞いてください。	1週間程度は穿刺部位に負荷を かけるような動作は避けてくだ さい。 	

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承ください。